



後藤理事長はまず「日本の今年の幕開けがお正月のように穏やかであってくればいいのですが、周りの情勢は色々な面でいい方向に向いてくる感じはありません」と現状を分析。少子化

問題が数値的にはつきりしている状況を踏まえ「工業を基本に据えている学園の各設置校は、どんな対応を迫られているのか、またどんな形が将来に向かって最適なのか。皆さんの高い見識と、集まって来た色々な情報をもとにしっかりと探ってほしい」など、総力結集と問題解決のための提言を強く求めました。また、これから各分野で進めていく事業や計画などについては、「早くやるものはやる、必要な時

冬の時代を教職員の総力結集で乗り切ろう

後藤理事長が平成16年の年頭あいさつで強調

### 全体見据えた積極的な提言を！

後藤淳・理事長（大学学長）は一月七日朝、学園本部五階会議室で年頭のあいさつを行い「私学は今、少子化という厳しい状況の中にあります。全教職員が力を合わせ、効果的な取り組みをしてください」と要請するとともに、高い視野に立ち、全体を見据えた積極的な提言をするよう求めました。②面に。



愛知工業大学情報電子専門学校  
愛知工業大学名電高校  
愛知工業大学附属中学校

目次:	
あいさつ要旨	2
入試・人事	3
スポーツ	4・5
サイエンス大賞	6
特別講演など	7
チャレンジ	8

発行所  
名古屋電気学園  
〒464-8540  
名古屋市千種区若水3-2-12  
TEL (052) 721-0201

## 3年連続のセンバツ出場 神宮で勝ち優勝候補No.1



間をかけて検討するなど、キチツとした対応で実現を目指してほしい」などと述べました。午後には大学でも年頭あいさつが行われ、専門学校ではあいさつ文が白岩義夫校長によって教職員に披露されました。なお高校・中学では、六日の職員朝礼にあわせ、後藤理事長の年頭あいさつが行われました。

**大根、倉野両氏に授与  
平成15年度後藤鉀二賞**  
前理事長を記念し、学園の発展や教育に寄与した人たちに贈られる平成15年度後藤鉀二賞の授与式が一月二十二日、学園本部五階会議室で行われました。受賞したのは大根義男・大学総合技術研究所長（土木工学科教授）、倉野光生・高校野球部監督（高校教諭）の二人で、後藤理事長から賞状と記念品が贈られました。②面に。



誉はありませんと謝辞を述べました。このあと、出席者全員で記念撮影しました。

名電高校野球部に一月三十日、第七十六回選抜高校野球大会出場の「正式切符」が届きました。昨年十一月に明治神宮野球高校の部で初優勝し、出場は確実視されていましたが、関係者にとっては待ちに待った高野連からの連絡でした。名電高は三年連続七回目の出場で、優勝候補の最右翼と目されています。②面に。

大勢の報道陣が待ち構える校長室で午後三時十九分、日本高野連から渡辺彪校長にセンバツ出場決定の正式連絡が入りました。渡辺校長が電話口で何度もうなずき、「謹んでお受けします」と答えて送受器をおくと、背後でやりとりに聞き入っていた野球部の織田秀彦部長、倉野光生監督、小宮裕希コーチ（写真後列右から順に）は握手を交わして喜び合っていました。

後藤理事長の年頭あいさつ

育の柱としている学園の愛知工業大学、名電高校、附属中学校、情報電子専門学校がどう対応していくか、厳しい試練といえます。もちろん、少子化への対応は重ねてきており、特に大学ではこの春から学科を再編します。学科の数は減りますが、専攻を細かくして選択肢は増えました。どんな結果につながるのかは、担当者の取り組み次第だと思います。取り組みをするセクションは、今までのように一つのことだけやっていけばいいというのではありません。いくつかの分野が融合し、境界がなくなってきたため、幅広い取り組みが求められています。少子化の時代に、どんな形の大学、高校、中学といったものが将来に向かって最適であるかを探っていくかねばなりません。自分が納得するだけでなく、世間一般にも理解される必要があります。わが大学は、いわゆるマスコミに取り上げられるような手法があまり上手ではありません。これは素晴らしいと、自分一人が思っているだけではだめです。多くの人に理解され、注目を集めながら、一つ一つの分野でも重要です。

学校の最適な将来像探ろう  
 広く認められる取り組み重要

一つ成果を上げていくしかないのです。こうした取り組み姿勢は、どの分野でも重要です。これからは、時代に合った取り組みが出来る若い力が必要です。しかし、年だから出来ないというのではなく、頭の使い方や切り替えでどんどん若返っていただき、皆さんの一層の力を発揮できるようにしてほしいと思います。昨年来、色々な計画が出てきています。実現するためには、順番を決め、急ぐものは急ぎ、キチツと内容を検討する必要があります。実現するたかねばならないでしょう。大学の名古屋における「本山キャンパス」の構想もありますし、経営情報科学部の大学院創設も来年度に向かって準備に入っております。色々な情報が入ってくるセクションにおられる方々ですから、「こういう姿勢がいい」「こういう内容がいい」など、その場で感じたことが十分生かされるよう、どんどん表に出してほしいと思います。

永年勤続の26人表彰  
 創立記念式典など開く

学園創立91周年記念式典が十一月十一日午後、高校の講堂・体育館「喬徳館」で開かれ、永年勤続者表彰などが行われました。写真。

後藤理事長が永年勤続の教職員二十六人にねぎらいの言葉を述べた後、一人ひとり賞状と記念品を手渡しました。続いて受賞者を代表し、大学士

木工学科の大根義男教授が「満足のいく仕事をやってきたわけではなく、悔いは残るけれど、これからも学園発展のために力を尽くしていきたい」と謝辞を述べました。

またこの日、名古屋市中心部の覚王山日泰寺で学園物故者法要が営まれ、平成十五年に亡くなった十四人の冥福を祈りました。



平成15年度後藤鉀二賞受賞者のプロフィール

大根 義男氏 (69)

土木工学科を中部地区有数の学科に育て上げた中心的人物というだけでなく、大学成長期には後藤鉀二前学長をよく補佐し、学園全体をより立ててきました。最近では総合技術研究所長として大学の安定に貢献するとともに、愛知工業専門



学校長も務め、姉妹園・愛和学園の発展にも尽くしています。

倉野 光生氏 (45)

昭和五十六年四月からコーチ、平成九年九月からは監督として野球部の指導にあたっていきます。これまでに春四回、夏五回の甲子園出場を果たし、昨年十一月の第三十四回明治神宮野球大会高校の部では愛知県勢として初優勝を飾る快挙



を達成しました。この成績を受け、三年連続七回目の選抜出場が決まりました。

永年勤続の受賞者(敬称略)

- 【勤続35年】 (10人)  
 (大学) 土木工学科教授・大根義男▽基礎教育センター教授・荒木淳▽建築学科教授・成瀬治典▽機械工学科教授・林二一▽建築学科助教授・林金之▽マーケティング情報学科助教授・寺本和幸(高校) 教頭・横地徹▽教諭・河口一雄▽教諭・実藤龍一▽教諭・水野正一
- 【勤続25年】 (9人)  
 (大学) 基礎教育センター教授・森豪▽建築学科教授・建部謙治▽経営情報学科教授・近藤高司▽附属図書館図書課係長・加藤直美▽建築工学科技術職員・永田昇(高校) 教諭・西三男▽教諭・原野照久▽事務部事務職員・青山春樹(学園) システム管理室係長・山里静子
- 【勤続15年】 (7人)  
 (大学) 経営情報学科教授兼愛工大情報電子専門学校長・白岩義夫▽マーケティング情報学科教授・中川覃夫▽情報通信工学科助教授・鈴木晋(専門学校) 教授・森島茂樹(高校) 教諭・島崎裕樹▽教諭・川嶋範夫(学園) 総務課係長・水谷亮介

# 大学 前期日程の出願五千人超す

＝平成16年度の入学試験シーズン本格化＝

## 高校普通科は11倍の難関に

平成16年度の入試シーズンが本格化し、学園の各設置校でも大勢の志願者が問題と取り組みました。

学科再編に伴い「専攻」単位による初めての入試となった愛工大では、前期日程一般・奨学生入試が一月三十日から三日間、大学や岐阜、津など延べ二十一会場で行われました。一般

(募集六百十一人)は四千九百四十一人、奨学生(募集二十四人)には百二十五人の出願がありました。またセンター試験利用入試一次(募集百十六人)の出願者数は、千四百四十人となっています。名電高の一般入試は二月

四日、高校、附属中学、河合塾千種校の三会場で行われました。附中関係を含まない志願者総数は四千三百三十一人(募集六百四十人)で、普通科は募集三百四十五人に対し三千七百八十人が志願し、11倍の難関でした。附属中は愛知県内私立中学のトップを切って一月二十四、五日に行われ、一般・奨学生入試(募集約六十人)に四百三十四人が出願しました。

## チェンマイ大と協力協定に調印

愛知工業大学とタイ国・チェンマイ大学の協力協定調印が十一月八日、大学第一本部棟一階の学長室で行われました。チェンマイ大からケイト・グルッパン理学部

化学科准教授が来学し、愛工大の後藤淳学長が協定書にサイン、酒井忠雄応用化学科教授、森豪国際交流委員会委員長(基礎教育センター教授)も立ち会いました。チェンマイ大のサイン者は、ブーンラクサー・ストーン

トーンサム理学部長です。協力協定は、両大学の協

力が両国の文化的豊かさ、科学の進歩および友好関係の強化に寄与することを主な目的としており、学生交流、教職員の交流、共同研究や教育・文化的プログラムの実施、情報の交換などを積極的

に進めていきます。

## 高校 会場を間違えたら大変



大学 競争相手が多く緊張するナ



附中 リラックスしていこうヨ

## 「万博大学」などの成功目指す 大学に学長直轄の関連事業推進室

愛知工業大学では、2005年3月25日から9月25日まで開かれる「愛知万博」(愛・地球博)に、色々な形で参加を検討しています。参加する各種イベントの成功を目指し、2月1日付けで大学内に「万博関連事業推進室」が設置されました。後藤泰之・学長代理を室長に、教員・職員計13人の態勢で「21世紀・万博大学」などの企画推進と取り組みます。

- 【教員】 後藤泰之大学学長代理・学園総合企画本部長、稲垣慎二大学副学長・学生支援本部長、加藤厚生大学工学部長、坪井常世大学学長補佐・教学センター長、鬼頭繁治大学計算センター長、森豪大学エクステンションセンター長
- 【職員】 堀田龍一大学事務局長、後藤尚之学園企画広報HP室長、梅木健三学園企画広報HP室次長、山田行政学園企画広報HP室課長、宇都宮貞文大学エクステンションセンター課長、近藤修司大学計算センター課長、柴田清司大学教学センター教務課長

## 東南大と共同研究の充実図る

姉妹校・東南大(中国・南京市)の

代表団(団長・孫載陽副学長ら七人)が11月25日名古屋入りし、大学第一本部棟4階会議室で後藤淳学長ら愛工大幹部と今後の交流計画について打ち合わせをしました。写真。後藤学長が「東南大と愛工大は24年間、一度も途切れることなく交流が続いています。これからも一層交流を深めていきましょう」と挨拶し、研究担当の酒井忠雄学長補佐が「両大学で進めている共同研究をさらに充実させましょう」と提案しました。孫団長も「両校は同じような学科を持ち、研究をしているわけですから、合同研究は積極的に進めるべきだと思います」と前向きな姿勢を示しました。この後、耐震実験センター、みらい工房などの施設を見て回り、午後からは学外の施設見学、特別講義の2班に分かれました。特別講義は12号館で行われ、史金飛・機械工程系教授と鄧建明・計算機科学工程系教授が約1時間30分、愛工大生に講義しました。一行は11月30日まで、トヨタ自動車の見学や関東方面への視察旅行など、日本を満喫しました。



スポーツ情報コーナー

福岡大FWに決勝進出阻まれる  
全国地区対抗大学ラグビー大会

第54回全国地区対抗大学ラグビー大会は1月2日～8日、名古屋市瑞穂ラグビー場に北海道、東北、関東、東海北陸、近畿、中国四国、九州各ブロックと大学クラブ、医歯薬系大学代表の合わせて12チームが参加して行われました。



東海学生Aリーグで創部(1983年)以来最高の2位となり、7年ぶり2度目の

出場を果たした愛工大チームは、2回戦(1回戦はシード)で北海道ブロック代表の道都大と対戦。フォワードが10トライを奪う活躍を見せ、60-7で圧勝して4強入りしました。

準決勝戦では、最後まで九州ブロック代表・福岡大の強力フォワードに食い下がったものの(写真=ブルーのジャージ)、再三の好機に得点出来ず、12-36で敗れ決勝進出はなりませんでした。前回出場の1997年1月大会でも、初出場です。

ブダペストとパリで交流試合  
= 愛工大フェンシング部 =  
3月にコーチと選手6人派遣

関西学生フェンシング連盟にこのほど、IOC(国際オリンピック委員会)など4大組織のひとつであるW O A (世界オリンピック協会=World Olympians Association) から、スポーツ交流の一環としてハンガリー共和国への招請がありました。これを受け、愛工大フェンシング部に連盟から代表選手派遣の依頼があり、コーチと選手合わせて6人が参加することになりました。日程は3月3日～15日で、ハンガリー・ブダペストとフランス・パリでクラブチームと合同練習するほか、ナショナルチームの練習にも加わるなど、スポーツの国際交流だけでなく、日本学生フェンシングのレベルアップにつなげたいとしています。参加者は次通り。

▽コーチ=横井浩治(愛工大監督)▽選手=谷口哲平(3年)、関口智晴(2年)、前田佑哉(1年)、青木優(1年)、加藤玄(1年)

◇第56回全日本フェンシング選手権大会(12月12日～15日・埼玉県蓮田市総合市民体育館)

【男子団体エペ】▽1回戦 愛工大 45-44 自衛隊体育学校▽準々決勝 愛工大 41-45 神奈川クラブ

◇平成15年度フェンシング全日本学生選手権(11月14日・東京駒沢屋内球技場)

【男子団体エペ】▽準決勝 愛工大 3-2 早稲田大▽決勝 愛工大 0-5 法政大

7年連続で総合優勝果たす

中部日本学生スキー選手権

第49回中部日本学生スキー選手権大会は1月6日から9日まで、長野県白馬村の岩岳スキー場に22大学、約180人が参加して開かれました。

男子1部に出場の愛工大勢は、雪不足のためスーパー大回転から種目変更された大回転で長瀬大護選手(4年)が連覇を果たし(写真・中日新聞提供)、2回の合計タイムを競う大回転でも長瀬選手が初優勝しました。また距離の10<sup>キロ</sup>クラシカルでも辻実選手(4年)が初優勝、総合で7年連続7回目の優勝を飾りました。記録は次の通りです。

【アルペン】▽大回転(スーパー大回転からの種目変更=全長750<sup>メートル</sup>、標高差170<sup>メートル</sup>、最大斜度32.5%、旗門数24)①長瀬大護 40秒86③下田悟大(1年) 41秒23④丸山三朋(3年) 41秒58⑥大森義之(4年) 41秒77

▽大回転(全長750<sup>メートル</sup>、標高差170<sup>メートル</sup>、最大斜度32.5%、旗門数25)①長瀬 1分29秒40(45秒44、43秒96)④下田 1分31秒57



(47秒00、44秒57)▽回転(全長504<sup>メートル</sup>、標高差95<sup>メートル</sup>、最大斜度32.5%、旗門数=1回目37・2回目39)②下田 1分16秒24(36秒41、39秒93)③長瀬 1分16秒93(36秒66、40秒27)

【距離】▽10<sup>キロ</sup>クラシカル①辻 32分4秒2⑤岩原明生(2年) 37分11秒1▽15<sup>キロ</sup>フリー④辻 54分56秒1⑤岩原 59分59秒8▽複合②辻 1時間27分0秒1⑤岩原 1時間37分10秒8

【大学別得点】①愛工大 131

総合で女子はV2、男子は2位  
15年度愛知県高校スキー選手権

全国高校スキー選手権県代表選考会を兼ねた平成15年度愛知県高校スキー選手権大会が1月4～6日、長野県・栂池高原スキー場で開かれ、総合で男子は2位、女子はV2を達成しました。この結果、男子6選手と女子3選手が、2月6～10日のインターハイ・スキー(北海道旭川市・富沢スキー場)に出場しました。

【男子】▽40<sup>キロ</sup>リレー①愛工大名電(川地晃治②、鈴木貴博②、服部友貴②、木村宏史①)1時間53分38秒▽クロスカントリー=9<sup>キロ</sup>クラシカル④川地 31分18秒⑥木村 32分27秒▽クロスカントリー=15<sup>キロ</sup>フリー④服部 53分57秒⑥川地 55分05秒

【女子】▽15<sup>キロ</sup>リレー①愛工大名電(大野美穂③、中野宏美②、川合くらら②)1時間08分33秒▽クロスカントリー=6<sup>キロ</sup>クラシカル①大野 22分43秒⑤川合 26分44秒⑥中野 27分58秒▽クロスカントリー=9<sup>キロ</sup>フリー②大野 35分42秒⑤中野 41分02秒⑥川合 42分47秒

スポーツ情報コーナー

名電・堂上選手がドラフトでドラゴンズへ



11月19日のプロ野球の新人選手選択(ドラフト)会議で、愛工大名電が二年間で春2回、夏1回出場の原動力になった堂上剛裕内野手は、6巡目で中日ドラゴンズの指名を受けました。渡辺彪校長、野球部の織田秀彦部長、倉野光生監督とともに記者会見に臨んだ堂上選手は、大勢の報道陣を前に「子供のころから慣れ親しんだ球団に指名され、とてもうれしい。自分のセールスポイントは打撃だと思っているので、プロでも打撃のパワーを見てほしい」と喜びを語っていました。名電出身者のプロ入りは19人目で、ドラフト指名を受けたのは1965年(昭和40年)の第1回ドラフト会議から通算17人目となります。

愛工大名電が神宮大会で初優勝

第34回明治神宮野球大会が11月14日開幕し、高校の部・東海代表の愛工大名電は、初戦の準々決勝で金沢(北信越代表)を5-1で破り、準決勝では広陵(中国代表)を7-4で下しました。17日の決勝では、大阪桐蔭(近畿代表)に延長10回、6-4で競り勝ち、初出場・初優勝を飾りました。東海勢の優勝は1999年の四日市工(三重)、2002年の中京(岐阜)に次いで3回目、愛知県勢としては初の快挙です。



延長10回、左越え本塁打を放った佐々木孝徳選手(背番号8)を迎えるベンチ=中日新聞提供

◇ベストナインに愛工大から3選手◇ 愛知大学野球秋季リーグ(愛工大は通算成績8勝3敗、勝ち点4、勝率7割2分7厘で2位)のベストナインが11月3日、発表されました。愛工大からは、捕手で西崎純司選手(4年)、三塁手で富永良太選手(2年)、外野手(センター)で清水恵介選手(4年)と、1部リーグ校では最多の3人が選ばれ、西崎選手には敢闘賞も贈られました。

前半の出遅れを挽回出来ず 全日本大学駅伝は21位に終わる

第35回全日本大学駅伝大会は11月2日、名古屋市・熱田神宮前～三重県伊勢市・伊勢神宮内宮前の8区間、106.8kmのコースに25校が参加して行われました。

4回連続12回目の出場となる愛工大チームは、23回大会の13位、33回大会の5時間33分10秒を上回る「記録更新」を目標に大会に臨みましたが前半の出遅れを最後まで取り戻すことが出来ませんでした。結局、タイムは5時間45分15

第1中継点の松田選手と堀選手



秒で、21位に終わりました。有田哲治監督は「主力の2人が春に卒業することもあり、チーム全体の戦力ダウンは避けられません。しかし、次回もぜひ出場したいので、駅伝にあったチームづくりと練習に務めて捲土重来を期します」と話していました。

東海学生駅伝で3年連続5回目のV

第65回東海学生駅伝競走大会が12月7日、半田市・成岩中学前～武豊町・塩田グラウンドの知多半島1周7区間(64.5km)に20チーム(3チームはオープン)が参加して行われました。愛工大Aチームは1区で10位と出遅れたものの、2区の牛山選手が区間1位の走りで5位に順位を上げ、さらに3区の吹田選手がキャプテンの意地を見せて激走。中間点までにトップを奪い、約50秒の差をつけて4区につなぎました。4区以降も安定した走りを見せ、結局3時間21分54秒で、2位の四日市大に2分22秒の大差をつけて3連覇を達成しました。愛工大チームの優勝は通算5回目。今回の優勝により、10月11日に開催される第16回出雲全日本大学選抜駅伝競走への出場権を獲得しました。



Vサインを掲げてゴールする桐山選手

全日本大学駅伝				東海学生駅伝		
区間	距離	選手・学年	タイム	距離	選手・学年	タイム
1区	14.6km	松田 康成③	46分21秒	8.8km	山内 広幸①	28分32秒
2区	13.2km	堀 貴博②	41分26秒	6.9km	牛山 純一②	20分55秒※
3区	9.5km	吹田 雅人④	29分07秒	9.2km	吹田 雅人④	28分00秒※
4区	14.0km	桐山 幸祐④	43分34秒	12.6km	松田 康成③	38分29秒
5区	11.6km	本島 治宏③	38分23秒	7.7km	羽根 啓介①	24分17秒
6区	12.3km	牛山 純一②	39分30秒	9.5km	堀 貴博②	31分28秒
7区	11.9km	羽根 啓介①	39分00秒	9.8km	桐山 幸祐④	30分13秒※
8区	19.7km	蓮池彰太郎③	1時間07分54秒	※印は区間1位		



④稲垣・自然科学部門審査委員長から表彰される羽島高の代表⑤澤・ものづくり部門審査委員長から表彰される浜松工高の代表

最優秀賞

## 「自然科学」は岐阜・羽島高 「ものづくり」は浜松工高に

二回目を迎えた「A I Tサイエンス大賞」の研究発表会・表彰式が十一月八日午前九時四十五分から、大学10号館二階の大講義室で開かれました。東海四県の二十八高校から三十二件の研究・制作テーマがエントリーされましたが、この日は事前審査で入賞候補作品に選ばれた自然科学部門八件、ものづくり部門九件の発表が行われ、下表のように各賞が決まりました。またエントリー全作品がA I Tプラザ一階でパネル展示され、この中から努力賞も二件ずつ選ばれました。

研究発表は、自然科学部門、ものづくり部門の順に進めら

### 第三回A I Tサイエンス大賞

れ、生徒たちは模型やパネル、スライドなどをふんだんに使って分かりやすく研究成果を報告しました。

表彰式に先立ち、自然科学部門審査委員長の稲垣慎二副学長、ものづくり

部門審査委員長の澤五郎副学長が、それぞれの研究に対して労をねぎうとともに今後の課題やアイデアなども含めて講評を行い、代表者に賞状と副賞を手渡しました。

	賞	学校名	テーマ
自然科学部門	最優秀賞	岐阜県立羽島高校	校内植栽樹木の開芽条件
	優秀賞	岐阜県立郡上高校	郡上郡大和町小間見川のオオサンショウウオの生息実態調査
		岐阜県立加茂高校	影の不思議～影が重なるとき何故伸びるのか
	奨励賞	愛知県立一宮工業高校	環境に優しい「柴漬け漁」の研究
		愛知県立岡崎北高校	カラーまゆの実験
		三重県立四日市中央工業高校	リサイクル活動の漸進
		私立暁高校 (三重)	オオカマキリの日周活動～活動におよぼす日射の影響について
	努力賞	岐阜県立関高校	窒素酸化物が植物に及ぼす影響についての研究
		私立岡崎城西高校 (愛知)	東海地震の発生によって起こりうる災害の調査とその問題点の改善を考える
		愛知県立一宮高校	食現象について～ガリレオ衛星の相互食・おうし座2星の暗緑出現～
ものづくり部門	最優秀賞	静岡県立浜松工業高校	レスキューロボット隊の開発～未来サンダーバードの苦悩と努力とその結果
	優秀賞	愛知県立刈谷工業高校	段差を楽に乗り越える車イスの研究制作 (電動段差車イス7号機)
		愛知県立佐織工業高校	燃料電池を搭載した電気省エネカー (EV)
	奨励賞	愛知県立岡崎高校	Super Ice Box (手動ポンプ式冷蔵庫) の製作
		愛知県立春日井工業高校	ハイブリッドエネルギーシステムに関する研究
		愛知県立津島高校	IGNITION!! モデルロケットへのチャレンジ
		私立愛工大名電高校 (愛知)	モデルロケット全国大会へ向けて自作機の製作とその工夫
	努力賞	三重県立津工業高校	橋梁模型製作における構造強度とデザインの検討について
		岐阜県立多治見工業高校	マイクロロボットの制御～制御システムに関する諸研究
		岐阜県立可児工業高校	燃料電池車の製作
		三重県立伊勢工業高校	小型バイオマス発電装置の開発研究

リニモ駅名 終点は「万博八草」 (愛知工業大学前) に 愛知万博会場へのアクセス・東部丘陵線 (リニモ) の9つの駅名が図のように決まりました。「万博八草」の駅名の後には (愛知工業大学前) も表示されます。同様に「芸大通」は (トヨタ博物館前)、「万博会場」は (県立大学前) となります。



#### 【おくやみ】

元大学工学部電子工学科教授・深谷義勝さん (78) = 腹部動脈瘤破裂のため10月14日死去されました。告別式は10月17日、名古屋市緑区平手南1-415のセレモニーホール岩倉で営まれました。喪主は長男・輝雄さん。

元大学工学部電気工学科教授・大庭政三 (まさぞう) さん (93) = 肺炎のため10月23日死去されました。告別式は10月25日、静岡県磐田市小島675の自宅で営まれました。喪主は長男・茂樹さん。



山崎 勲氏  
三菱重工特別顧問

### 特別講演

豊田章一郎氏  
愛知万博協会会長



名古屋電気学園愛名会の平成15年度事業計画に基づく学術文化交流事業の一環として10月30日、名古屋市中区の名古屋国際ホテル2階「老松の間」で特別講演会(中部産業連盟と共催)が開かれました。

講師は三菱重工業の山崎勲・特別顧問、演題は「H-II A ロケットの開発と商業化について」。山崎氏は長年、ロケット開発に従事し、米国の技術援助で我が国初の大型液体燃料ロケット「N-I」、我が国独自の液体水素ロケット「H-I」などの開発を担当しました。講演で山崎氏は、ロケットの歴史や他国の技術力、燃料・コスト問題などについて、細かいデータを示しながら解説。今後、どのように国産ロケットを海外に売り込むかなど、開発の裏話も交えながら話しました。

東海工学教育協会(会長・清水眞男 中部電力常務取締役)の平成15年度地区大会が11月10日、愛工大の愛和会館講堂に約550人が参加して開かれました。清水会長の挨拶、来賓祝辞、担当校となった後藤淳愛工大学長の挨拶などがあり、続いて豊田章一郎・愛知万博協会会長(トヨタ自動車取締役名誉会長)の「愛・地球博とモノづくり及び技術教育」と題する特別講演が行われました。

豊田会長は「地球環境と共生するモノづくり」を強調、長持ちするものをつくって大切に使い、リサイクルを考える...がこれからのモノづくりに求められていると力説しました。講演会の後、5人のパネリストを招いて「技術者のキャリア形成支援における産学の連携」をテーマにパネル討議が行われました。

## 2月末に大学・鉦徳館で学内企業研究会

### 3月には地元就職応援のAIT企業交流会開く

就職希望の学生に企業をじかに研究してもらおうと大学は2月26日、27日の2日間、学園の支援団体「名古屋電気学園愛名会」と協力して講堂兼体育館の鉦徳館で平成16年度学内企業研究会を開きます。愛名会加盟の200社近くが参加し、学生たちは各企業の就職担当者と面談してホットな情報収集に努めます。3月16日～18日には、AITプラザでも企業研究会が開催されます。

一方、学生の「Uターン指向」を出来るだけバックアップするため、平成17年3月卒業予定の出身者が多い4地区で3月5日から24日にかけて、「AIT地元企業交流会」も開きます。愛工大と地域企業との関係を強化するとともに、学生にとって求人・採用情報の収集も欠かせません(開催は13時30分～16時)。

- ◇3月5日=三重・四日市都ホテル ◇3月9日=富山・名鉄トヤマホテル
- ◇3月11日=静岡・浜松名鉄ホテル ◇3月24日=岐阜・ぱるるプラザ岐阜

## 就職先選択の参考に

インターンシップ支援センター  
初の実務体験報告会を開催

企業・団体での実務体験を出来るだけ多くの学生に知ってもらい、スキルアップなどの参考にしてもらおうと大学・インターンシップ支援センターは一月二十日午後、初の「インターンシップ事後報告会」を1号館大講義室で開きました。昨年八月の夏季インターンシップに参加

加した三年生ら約百四十人のうち、大学院生一人と三年生十人が、一人五分の持ち時間を使得「自分の足りないスキルは二年のうちで把握する」「三年はスキルアップの時間に当てる」「新聞を読み、人と話し、ものを書くことの大切さを痛感した」などと実務を通しての体験を披露しました。

## 大畑小児童も参加して愛工大駅伝開く

学生同士の親睦を図り、学生・教職員の交流を深める23回目の愛工大駅伝大会が11月5日、大学キャンパスの周回コースで開かれました。本部棟前を発着点に、1周約2.2kmを4人で4周する「オープンコースの部」など3種目に計121チーム、延べ約520人が参加。自慢の足と持久力、それに出し物のアイデアなどを競いました。また近くの大畑小5～6年児童30人を招き、1周約1.1kmのコースを5チームがリレー形式で2周する競技も行われました=写真。女装の「変なお兄さん」が伴走で応援し、児童らはバトンを握りしめ元気いっぱい走っていました。



◇設置校の卒業・入学式◇  
名古屋電気学園と姉妹園の愛和学園は、左の表の日程で関係六校の卒業(園)式と入学(園)式を実施する予定です。

学園	設置校	卒業(園)式	入学(園)式	会場
名古屋電気学園	愛知工業大学	3月23日午前10時	4月5日午前10時	鉦徳館
	愛知工業大学情報電子専門学校	3月18日午前10時	4月8日午前10時	402講義室
	愛知工業大学名電高等学校	3月1日午前9時	4月6日午前9時	喬徳館
	愛知工業大学附属中学校	3月17日午前10時	4月6日午前10時	愛名館
愛和学園	愛知工業専門学校	3月16日午前10時	4月12日午前10時	4階製図室
	あいわ幼稚園	3月13日午前10時	4月3日午前10時	遊戯室

HPコンテスト最優秀賞

東 尚美さん

(情報科学科二年)  
第14回愛知県高校生プロ



中学生に高校生活のすべてを伝えてたくて取材にも色々苦勞しました

チャレンジしてまます

梯子獅子の「後ろ」役

近藤

輝英君 (普通科二年)



愛知県知多市朝倉地区の  
奉納獅子(はしごじし)は、県  
の無形民俗文化財。毎年十  
月の第一日曜に奉納され、  
高さ約九尺のやぐら上で、  
シシをかぶる人と足の部分  
(後ろ)の二人一組で曲芸  
的な舞をします。昨年初め  
て、縁の下の方力持ちの「後

名電高の「頑張り屋さん」たち

グラミング・ホームページコンテストのHP部門に初出品し、最優秀賞に輝きました。タイトルは「情報科学科」。中学生が進学高校を決める際にほしがる情報を提供しようと、名電生の日常生活に重点を置き、授業だけでなく部活や食事、単位の取り方なども紹介しています。初めてパソコンを買ったのが高2というスロースターターですが、仲間たちにも色々教わり、作品は五日で完成させたとか。「高校生の作品らしくないところが自慢です」。

ろ」役で舞い、江戸末期から続く伝統継承の家系に加わりました。九月からの練習は厳しいですが、「舞に参加して、地区の人間という自覚が生まれました」。青年会定年の二十四歳まで、舞が中心の生活です。



奉納無形文化財

全国大会での優勝讃える  
2クラブと2個人を表彰

平成十五年に全国大会で優勝したクラブと個人の表彰式が十二月十九日、高校西館のランチルームで行われました。今年は団体が野球部と吹奏楽部、個人が相撲部とフェンシング部の各一人でした。まず後藤淳理理事長が「皆さん、全国大会での優勝おめでとう。全国レベルの優勝はとても素晴らしいことですが、競技に参加した部員の力だけで達成出来たわけではありません。

クラブの仲間、先生方そして保護者の方々の協力や応援があったからこそだと思います。大人になって社会に出てからでも、協力し合って達成した優勝の経験は大いに役に立つでしょう。この気持ちを忘れず、これからも頑張ってください」と優勝を讃えました。続いて渡辺彪・校長のお祝いの言葉、各クラブによる成績発表、監督・顧問の決意表明などがあり、後藤理事長から表彰状などが各クラブ代表に贈られました。



- 【団体】 野球部 第34回明治神宮野球大会高校の部優勝=写真省略  
吹奏楽部 第51回全日本吹奏楽コンクール全国大会高校の部・大編成金賞(2年連続29回目)=写真①
- 【個人】 相撲部・森下弘康選手(普通科3年)=写真②  
第49回全国高校相撲東西対抗大会115\*。超級優勝  
フェンシング部・水野太智選手(普通科3年)=写真③(向こう側)  
平成15年度全国高校総合体育大会男子個人エペ優勝

編集後記

いま世の中は色々な情報があふれ、なにか正しく、なにか重要なのか分りにくくなっています。だからこそ、情報の精度を見極め、多角的に分析し、的確な手を打っていくことが求められています。情報「正確すぎる」ということはありませんし、分析も「十分すぎる」ほど繰り返す行いが大切なのだと思います。忍者の世界ではないけれど、正確な情報を早く集め、正しく分析して「いくさ」を制するのは、いまも昔も変わりありません。情報の精度を高めていくには、否定的なことも謙虚に受け入れねばなりません。不利な情報ほど、重要なことを示唆しているはず。情報を都合よく解釈すると、すべてがうまくいくように見えますが、結局は方向を見誤ります。少子化の時代、若い世代の考えや生き方を正しく理解し、学園の将来像を描いていかねばなりません。足を地につけ、将来をしっかり見据えていくには、正確な情報と的確な分析がどうしても必要です。(柳)